

# 会 議 録

## 1 会議名

平成30年度第5回保倉区地域協議会

## 2 議題

### 【協議事項】

自主的審議事項について（公開）

## 3 開催日時

平成30年11月5日（月）午後6時00分から午後7時20分

## 4 開催場所

上越市立保倉地区公民館

## 5 傍聴人の数

1人

## 6 非公開の理由

—

## 7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・委員： 宮川和市（会長）、吉川善一（副会長）、池田つえ子、大堀幸子、  
中島厚、早津輝雄、松林剛、丸山隆夫、山岸 功、吉田一枝、  
渡邊良禎（欠席1名）

・事務局： 北部まちづくりセンター：滝澤センター長、小池係長、千田主任

## 8 発言の内容

### 【滝澤センター長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

### 【宮川会長】

- ・挨拶
  - ・会議録の確認：大堀委員、中島委員に依頼
- 議題【協議事項】自主的審議事項について、事務局へ説明を求める。

### 【千田主任】

本日は、委員の皆さんからの提案について、4つのテーマ毎に意見交換をしていただきたい。

**【宮川会長】**

それでは「No.1 保倉小学校の存続について」意見等はあるか。

**【大堀委員】**

前回の協議会の際、保倉小学校の今後についてかなり意見が出ていたように思う。各地域自治区で学区を分けるのではなく地域横断的に編成していくというような話も出ていた。そういう情報というのは、公に出ており、誰もが知っていることなのか。どこまで伝わっているのかが分からないので、そのような情報について皆さんが思っていることもお聴きしたいと思っている。そして、PTAの方々の関心も高い話題だと思うので、話の進め方によってはPTAの方々の意見を聴く場も必要になるのではないかと。

**【宮川会長】**

市議会において、今後の学校の在り方について議論がされていた。

地域協議会でも保倉小学校を存続していくにはどうしたら良いのかということをお話し合っていくのも一つの方法だと思っている。

**【吉川副会長】**

少し矛盾を感じている。一方は小学生が少ないから統合を考えていかななくてはならない。もう一方では地域活性化のために人口を増やさなくてはならないと言っている。それならば、地域を活性化させ小学校を存続させたほうが良いのではないかと。今の段階で保倉小学校の統合を考えるのは時期尚早だと思っている。

**【大堀委員】**

私も喫緊の課題だとは思っていない。定住化対策等で保倉地区振興協議会がいろいろと手を尽くされているが、なかなか人口が増えていない。私の周りでも老夫婦だけの世帯や空き家が増えているという話を聞く。そうすると子どもが少ないどころかなくなってしまい、小学校はどうなるのか。喫緊の課題ではないかもしれないが、現在通っている子どもの保護者はどんなことを感じているのか知りたいと思う。

複式学級についても何人くらいから複式になり、段階的にもどのように編成されていくのかが分からない。

地域協議会委員の中でも小学校に通っているお孫さんがいないという委員が多いと思う。身近に小学生がいれば考える機会も多いかもしれないが、地域に小学校があるとい

うことは大事なことではないか。小学校で運動会や文化祭があり、子ども達のためにいろいろなことを行おうと動いてくれている地域の方々もいるので、できれば保倉小学校を地域に残して、皆さんで力を合わせて活性化に繋がればと思っている。

#### 【吉川副会長】

保倉区の人口をこれ以上減らさないようにし、現状維持していくにはどうしたら良いのか。

#### 【渡邊委員】

先般、下青野町内会の常会があり、その場で保倉小学校の今後について皆さんがどう考えているのかを聞いてみたが、ほとんど無関心であった。実情をお話したら「保倉区に保倉小学校がなくなるということは保倉がなくなるということ、何とか守ってもらいたい」、「有田小学校へ統廃合してはどうか、早いうちに手を打たないといけない」、「何故早く手を打たないのか」という意見が出ており、「先頭に立つ人がいないと話がまとまらない」という意見も出ていた。

また、学校の統合について地域を横断的に考えるという話も出ていたが、「例えば、保倉小学校に頸城区の望ヶ丘団地の子どもを通わせるというような考え方を言っているのであって、ほかのことを言っているのではない」との意見もあった。私はそんなに単純な話ではないと思っている。簡単に解決する問題ではないので各委員がいろいろな場面で話題を出し、機が熟すまで待ったほうが良いのではないか。

今ここで結論を出すのではなく、問題に対する共通認識を持って各委員がそれぞれの場でいろいろな意見を聴いていけば、然るべき時に結論が出るのではないか。

#### 【宮川会長】

人口減少は保倉区だけではなく全国的にも問題になっていることである。

今、頸城区の一部の地域の子どものみを保倉小学校に通わせるという話があったが、そうなった場合、地域自治区で区別されていると子どもだけ保倉小学校へ通い、親は頸城区でイベント等があったらそちらへ行かなくてはいけないという形になってしまう。

#### 【早津委員】

前回の協議会で話題に挙がっていた三和区の小学校との統合だが、三和区の小学校には受け入れの余地はないと思っている。頸城区の一部地域と統合しても恒久的には解決しない。有田小学校も、すでに多数の児童が通っており、今後も増える予定なので保倉小学校の児童を受け入れられる状態ではない。第三の小学校を造るということもあり得

るかもしれない。そして、春日新田小学校は、建物自体は多くの児童を受け入れられる規模はあるが、下門前や安江で人口が増えた時にどうするのかという問題がある。だが、調整をすれば春日新田小学校の児童数を増やすことで一時しのぎはできるかもしれない。

将来的な可能性として、諏訪小学校と北諏訪小学校の児童数が減っているのので、保倉小学校と統合するという話はあるかもしれない。それについて、数年は話し合いを行っていくのはどうか。話し合っていくうちに良い知恵が出ればと思っている

私もそうだったが、大学等を卒業したら地元に戻ってきてほしいと伝えない親が多いように思う。まず伝えることが自主努力の範囲なのではないか。人口減少について、保倉区だけで協議していても無理である。今後、8割くらいが空き家になるということは田舎に共通している。それを根本的に解決するには何十年も掛かる。国政の在り方を変えない限り解決できない。

そして保倉区は保倉川が氾濫して危険なのではないかということがあり、定住化対策に関する問い合わせの電話も2、3件しかなかった。これを地元の問題として解決するためには少しでも早く保倉川放水路を造っていただきたい。

保倉川の問題も目途を付け、再度、市にアパートくらいは造らせてもらえないかという相談が出来れば良いのではないか。

身近な環境整備をして努力することによって保倉小学校が存続できるように自主努力をしていきたいと思う。

#### 【宮川会長】

市街化調整区域について、運用により一部対応が可能となったが、それ以外にインフラの整備も支障になっている。土地は安い下水道等を整備するために、多大な費用が掛かってしまう。公共で設置してもらえるように活動するのも一つの方法だと思う。地道にやるしかない。

関心がない人もいると思うが、少しでも掘り起こして仲間を作っていくことが大事になってくると思う。

#### 【中島委員】

今、人手不足で外国人の受け入れを行っている企業がある。頸城区でも大手企業が空き家を活用して外国の方々に住んでもらっている。この取り組みは人口減少に歯止めを掛けるためではなく、何か需要があるから取り組んでいるのかもしれないが、もし、保倉区でアパートが建てられるようになって外国人に住んでもらうことになったら保倉区

の住民の方々は拒絶反応を起こしてしまうかもしれない。その場合はどのように対処していくのかということも考えていかななくてはならない。

どこの地域を見ても少子高齢化や人口減少というような課題が出ている。だが、何も対策ができず手をこまねいてしまう。

#### 【渡邊委員】

市の都市計画では、市のコンパクト化を進めなくてはならないということだが、それは中心市街地が空洞化しないためである。それでは、保倉区はどうになってしまうのか。

人口を増やすためにはアパート等を建てなくては駄目だと思うので第6次総合計画でもう少し柔軟に考えていただきたい。保倉区は中山間地ではなく、旧市街地となっている。しかし、中山間地より不便な面がある。そういうところをどのように解決するかが私は大きな課題だと思っている。

先ほど早津委員もおっしゃっていたが、子どもは地元に残らない。集落から出ていくばかりでその結果、空き家が年々増えている。

小学校へ冷暖房設備を設置する話も、国は学校の大小関係なく小・中学校には冷暖房を完備する方針であるが、上越市の方針はどうか。

#### 【宮川会長】

当課題については急いで結論を出すようなものではない。時間を掛けて話し合い、その中で、良い意見や案が出ればと思っている。

地域協議会内でこんなことを考えて委員全員で検討しているということが地域の方々に伝われば思い直してくれる人もいるかもしれない。

#### 【大堀委員】

保倉小学校の児童数について、ほとんどの人が知らないと思う。地域の皆さんに児童数をお伝えするだけでも小学校に対する関心が深まるのではないかと。

#### 【松林委員】

私の住んでいる町内でも上越教育大学附属小学校へ通っている子どもがいる。高校の場所も、ほとんどが高田で直江津には1校しかない。親としては送迎しやすい高校に子どもが通ってくれたらとも思う。小学校だけではなく、全てが絡んでくる。

難しいかもしれないが、小学生や中学生を地域の方々が巡回しながら連れていくなど、考えていったほうが良いのではないかと。可能になれば保倉区に住んでいても登下校の心配はない。

直江津東中学校へ通っている子ども達はバスもあるのに、ほとんどの子どもは家族が送迎している。過保護かもしれないが、そういうことから考えていかなければ、対策方法を考えるのは難しいのではないか。

そんな中、私の町内はバスが通っておらず、不便な点は何点かあるにも関わらず、幸いにも分家住宅が1軒増える。市街化調整区域だからといって家が建てられないのではなく、農村地域であれば分家住宅を造られるのではないか。他地域から転入してもらいたくても地域に魅力がなければ来ないと思うので、まずは自分たちで努力するしかない。

#### 【宮川会長】

地域全体で同じような知識を持っていなければ進まない。子どもがいる世帯だけが一所懸命に考えても駄目である。

#### 【渡邊委員】

松林委員の意見には賛成である。お年寄りの方々が送迎をしているが、孫が大きくなり、送迎の必要がなくなると、子ども達は保倉区から出ていってしまうという現状があるということを確認していただきたい。

また、老夫婦の家の近くに子どもが住んでいると福祉面で面倒な点が出てくるというような話もある。施設に入所したくても、近くに面倒を見る人がいるとなると入所できない。そのような理由で地域から出ていってしまうというような状態が現実にある。

家族関係の在り方や高齢化社会等の問題はあがるが、併合した考え方をしていけないといけないのではないか。ただ保倉区に留めれば良いと言っても現実とはかけ離れている。現実を直視しながら、どのようにしていくかを考えていけないといけない。

#### 【宮川会長】

時間を掛けて話し合いを行っているが、先ほどから出ている意見は根底からある話なので、その話が少しでも前に進めば解決するような問題が多数あると思っている。

そして、いろいろな企業を誘致し、それなりの給料が貰えるような勤務先がないと人も来ない。

#### 【早津委員】

松林委員から分家住宅の話が出たが、昨年、私の町内から頸城区へ転居した世帯がある。いろいろな事情があったのだと思うが、親と一緒に住むために新しく家を建てたいが敷地が狭いという理由で引っ越しをしたとのことだった。町内会長を中心に保倉区には土地があるので地主さんに話をして何とかするので保倉区に残ってくれないか、とい

うような話をし、努力していく必要があると思う。

保倉小学校の統合の件もあるが、まずは、いろいろな課題を話し合うための下地を作るためにも、年度内に町内会長との意見交換の場を設けてほしいと思っている。率直な意見交換をすることが有益だと思っているが、その場でも結論は出ないと思う。だが、地域協議会だけで盛り上がっていても前に進まない。

**【宮川会長】**

提案されている内容について、できるだけ大勢の人たちに知ってほしいと思っている。そして、早津委員が言ったように町内会長が一番地域に密着している人だと思うので話し合いの場を持ってお互いに掘り下げていきたい。

**【渡邊委員】**

町内会長の方々と意見交換を行うのは非常に良いことだと思うが、保倉区は「まちづくり協議会」が新たに立ち上がったと思う。そちらの方々とも意見交換をしてみてもどうか。

**【山岸委員】**

新たに立ち上がったのではなく、来年の4月1日から「保倉地区振興協議会」の名称を「保倉地区まちづくり協議会」に変える予定である。

私も保倉地区振興協議会の方々と意見交換をしたほうが良いと思っている。17町内の町内会長と各団体の役員で構成されている。

**【宮川会長】**

では、そちらの方々とも意見交換ができるよう調整したいと思う。

**【松林委員】**

資料に「保倉川流域の浸水被害の解決について」とあるが、以前、保倉川周辺の雑木の伐採等を県に相談したが、予算が必要な案件については、緊急性や優先順位があり、すぐに対応するのは難しいと返答があったという話を聞いたことがある。

保倉川放水路の協議が進まないとはほかの問題も進まなくなってしまう。

**【早津委員】**

保倉川放水路の事業を進めるためにはいろいろな段階が必要だと思うが、松林委員がおっしゃっているのは安全・安心に関わることだと思うので、優先すべきだと思う。

**【宮川会長】**

それでは保倉地区振興協議会との意見交換会を年度末までに行うこととする。

私から一点報告だが、兼ねてから市や警察にお願いしてきたクリーンセンター近くの信号機についてだが、ようやく設置された。

- ・次回協議会の開催日程について話し合い
- ・次回協議会：12月10日（月）午後6時から

#### 【吉川副会長】

- ・会議の閉会を宣言

#### 9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 北部まちづくりセンター

TEL：025-531-1337

E-mail：hokubu-machi@city.joetsu.lg.jp

#### 10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。